

令和6年度 第8回政策推進会議報告

日 時 9月18日 13時30分～14時00分

場 所 WEB会議室

出席者 16人

1 尼崎市企業立地方針（素案）及び素案に対する市民意見公募手続の実施について

経済部長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・（総合政策局長）現在、市内の20代、若年労働者層の人口が増えている中で、この立地方針と企業の従業員数を増やしていくなどといった雇用の関係はどのように議論されているのかお聞かせ願いたい。
- ・（経済部長）この立地方針の中で、雇用に関して何か直接的に記載しているものは特にないが、今回この重点分野を定めるにあたっては、今後尼崎市で成長するであろうという分野に注目した。今市内の企業の中でも化学工業系というところが伸びており、市内でも機械化を進めることで工場を減らしていくようなところもある中、この化学工業の分野については工場を拡張するために場所を探しているような企業もたくさんおられる状況である。そういった部分において、こうした成長産業を定めることで、雇用も並行して促進していきたいと考えている。
- ・（吹野副市長）この立地方針の一番の狙いは、例えば補助金のターゲットをどうするかというところだと感じているが、実際企業が進出する際、補助金の有無等も影響すると思うが、それ以外にも人材の供給や研究者が望む生活環境といったことも影響すると考えている。今回企業の立地に向けて補助金以外に何かそういった産業が進出しやすいような条件等についてのヒアリングなどリサーチは行うのか。
- ・（経済部長）新しい企業に加え、従業員の方にも市内に来ていただく、これがまさに職住近接でセットであると考えている。住宅供給や生活面に関しては、どこまで誘導できるかなど、他部局も含め、十分に議論はできていないため、今後連携して考えていきたいが、ターゲットにしている業種のニーズ、意見等を聞く場はしっかり持ちたいと考えている。

2 その他

- 総合政策局長から職務中における SEKISUI チャレンジャーズグッズを着用しての応援について説明。
- 総合政策局長から AMAMIMI FES の開催について説明。
- 総務局長から障害者活躍推進計画の進捗状況等について説明。
- 福祉局長から認知症にやさしいまちをめざすための認知症月間の取組について説明。
- 福祉局長から手話言語普及のための尼崎城等ライトアップについて説明。

以 上